



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 株式会社セブン銀行 上場取引所 東  
 コード番号 8410 URL <https://www.sevenbank.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松橋 正明  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員企画部長 (氏名) 清水 健 (TEL) 03-3211-3041  
 配当支払開始予定日 —  
 特定取引勘定設置の有無 無  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(表示単位未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	51,427	24.6	7,178	△7.4	4,644	△12.5
2024年3月期第1四半期	41,246	14.9	7,751	6.1	5,310	6.3

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 6,093百万円(△3.7%) 2024年3月期第1四半期 6,332百万円(△0.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
2025年3月期第1四半期	円 銭 3.97	円 銭 —
2024年3月期第1四半期	4.51	—

(注) 2025年3月期第1四半期における「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有しないため、記載しておりません。また、2024年3月期第1四半期における「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2025年3月期第1四半期	百万円 1,709,894	百万円 275,125	% 15.8
2024年3月期	1,717,818	275,856	15.7

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 270,245百万円 2024年3月期 270,537百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権-期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭 —	円 銭 5.50	円 銭 —	円 銭 5.50	円 銭 11.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	5.50	—	5.50	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	104,000	12.7	13,500	△17.7	9,000	△72.4	7.69
通期	215,000	8.6	28,000	△8.2	19,500	△39.0	16.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社(社名) ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONAL、除外 1社(社名) —  
MALAYSIA SDN. BHD.

(注)重要な変更には該当いたしません。が、株式譲渡により株式会社セブン・グローバルレミットを除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	1,179,308,000株	2024年3月期	1,179,308,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	9,382,326株	2024年3月期	9,391,049株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	1,169,923,565株	2024年3月期1Q	1,175,448,117株

(注)当社は、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
（1）当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
（1）四半期連結貸借対照表 .....	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
（継続企業の前提に関する注記） .....	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） .....	8
（会計方針の変更に関する注記） .....	8
（セグメント情報等の注記） .....	9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） .....	10
（重要な後発事象） .....	11

（別紙）2025年3月期 第1四半期決算補足資料

※当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。

説明会の音声は、開催後当社WEBサイトで掲載する予定です。

2024年8月9日（金） アナリスト・機関投資家向け決算説明会（電話会議）

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

## ・当期の経営成績

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の景気は、原材料価格の高騰等に伴う物価上昇の影響により、個人消費の持ち直しに足踏みがみられるものの、緩やかな回復基調が続きました。一方、物価上昇に伴う消費者の生活防衛意識の変化や、世界的な金融引締めによる景気への影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような環境の中、当第1四半期連結累計期間の当社連結業績は、経常収益51,427百万円、経常利益7,178百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益4,644百万円となりました。

なお、セブン銀行単体では、経常収益33,056百万円、経常利益7,418百万円、四半期純利益5,006百万円となりました。

(経営成績)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比
経常収益	41,246	51,427	24.6%増
経常利益	7,751	7,178	7.4%減
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,310	4,644	12.5%減

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

## ①国内事業（銀行業その他）セグメント

当第1四半期連結累計期間は、預貯金金融機関や、消費者金融等のノンバンクの取引件数が堅調に増加したことに加え、当社ATMを利用した各種キャッシュレス決済への現金でのチャージ取引件数も引続き順調に増加したことにより、ATM総利用件数は前年同期を上回る水準で推移いたしました。

2024年6月末現在のATM設置台数は27,604台（2023年6月末比2.2%増）、当第1四半期連結累計期間のATM1日1台当たり平均利用件数は107.6件（前年同期比3.0%増）、ATM総利用件数は268百万件（同5.4%増）となりました。なお、2024年6月末現在の提携金融機関等は680先（注）、第4世代ATMの入替設置は引続き堅調に進捗し、2024年6月末時点での設置台数は21,449台（2023年6月末比46.5%増）となりました。

また、ATMの共同運営やグループ外への積極的な設置を通じ、いつでもどこでもサービスが受けられる環境づくりに加え、ATMによるマイナンバーカードの健康保険証利用申込みや、マイナポータル情報連携サービスの提供、さらには、金融機関などの諸手続をATMで受け付ける新サービス「+Connect（プラスコネクト）」を提供するなど、ATMの可能性を広げるサービスプラットフォーム戦略も着実に進めております。

今後も物価上昇や金利・為替相場の変動、キャッシュレス化の進展等により、依然として先行き不透明な事業環境が予想されますが、ATMの社会的価値を現金プラットフォームからサービスプラットフォームへと進化させ、社会の変化・お客さまニーズの変化に柔軟に対応したATMプラットフォーム戦略を今後も推進してまいります。

（注）JAバンク及びJFマリンバンクについては、業態としてそれぞれ1つとしております。

	2024年3月期		2025年3月期	
	第1四半期 連結累計期間	通期	第1四半期 連結累計期間	通期 (予想)
■ATM1日1台当たり平均利用件数	104.4件	105.0件	107.6件	105.8件
■ATM期間総利用件数	255百万件	1,039百万件	268百万件	1,066百万件
■ATM台数	26,985台	27,422台	27,604台	27,893台

個人のお客さまの預金口座数は3,128千口座（2023年6月末比10.6%増）と順調に増加し、個人向け預金残高は6,072億円（同3.7%増）、個人向けローンサービスの残高は480億円（同28.5%増）となりました。

また、「セブン銀行後払いサービス」の当第1四半期連結累計期間における取扱高は171億円（前第1四半期連結累計期間比23.0%増）となりました。

	2024年3月期		2025年3月期	
	第1四半期 連結累計期間	通期	第1四半期 連結累計期間	通期 (予想)
■個人口座数	2,826千口座	3,037千口座	3,128千口座	3,700千口座
■個人向け預金残高	5,851億円	5,983億円	6,072億円	6,540億円
うち普通預金残高	4,631億円	4,829億円	4,930億円	—
うち定期預金残高	1,220億円	1,154億円	1,142億円	—
■個人向けローン残高	373億円	443億円	480億円	600億円

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の国内事業（銀行業その他）セグメントにおける経常収益は34,042百万円、経常利益は7,234百万円となりました。

#### ②クレジットカード・電子マネー事業セグメント

当社連結子会社の株式会社セブン・カードサービスは、クレジットカード事業・電子マネー事業を運営しております。

2024年6月末時点でのクレジットカード会員数は347万人、金融商品残高は457億円となりました。なお、当第1四半期連結累計期間のクレジットカードショッピング取扱高は2,036億円となりました。

また、2024年6月末時点での電子マネー「nanaco」会員数は8,249万人、当第1四半期連結累計期間の電子マネー取扱高は4,270億円となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間のクレジットカード・電子マネー事業セグメントにおける経常収益は7,416百万円、経常利益は469百万円となりました。

#### ③海外事業セグメント

米国における当社連結子会社のFCTI, Inc. は、米国セブン・イレブン店舗にATMを設置しており、2024年3月末時点のATM設置台数は8,561台（2023年3月末比0.7%減）となりました。

インドネシアにおける当社連結子会社PT. ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONALは、現地コンビニエンスストア店舗へのATM設置を推進しており、2024年3月末時点のATM設置台数は8,499台（2023年3月末比37.8%増）となりました。

また、フィリピンにおける当社連結子会社Pito AxM Platform, Inc. は、フィリピン国内のセブン・イレブン店舗へのATM設置が堅調に推移し、2024年3月末時点のATM設置台数は3,079台（2023年3月末比28.4%増）となりました。

なお、2024年5月30日にはマレーシアにおいて、現地企業と合弁で当社連結子会社のATM運営事業会社ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONAL MALAYSIA SDN. BHD. を設立いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の海外事業セグメントにおける経常収益は10,238百万円、経常損失は522百万円となりました。

当社は社会の変化に伴い顕在化・深刻化する社会課題解決への貢献をビジネス機会と捉え、これまで培ったノウハウに加え、外部企業とも連携し、さまざまなお客さまのニーズに応じた新たな金融サービスを提供することを目指してまいります。

## (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

総資産は1,709,894百万円となりました。このうちATM運営のために必要な現金預け金が933,970百万円と過半を占めております。この他、主に為替決済、日本銀行当座貸越取引の担保等として必要な有価証券が122,747百万円、提携金融機関との一時的な立替金であるATM仮払金が247,585百万円、クレジットカード事業における債権である会員未収金が135,001百万円となっております。

負債は1,434,768百万円となりました。このうち主なものは預金であり、その残高（譲渡性預金を除く）は956,806百万円となっております。なお、個人向け普通預金残高は493,006百万円、定期預金残高は114,275百万円となっております。

純資産は275,125百万円となりました。このうち利益剰余金は200,015百万円となっております。

## 株式会社セブン銀行（8410）2025年3月期 第1四半期決算短信（連結）

(財政状態)	(単位：百万円)		
	前連結会計年度	当第1四半期連結会計期間	増減
総資産	1,717,818	1,709,894	△7,924
負債	1,441,962	1,434,768	△7,193
純資産	275,856	275,125	△731

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では2024年5月10日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変更がある場合には、適切に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	988,932	933,970
コールローン	50,000	40,000
有価証券	118,077	122,747
貸出金	56,289	59,948
外国為替	0	0
A T M仮払金	205,420	247,585
会員未収金	134,340	135,001
その他資産	76,038	78,390
有形固定資産	39,150	41,830
無形固定資産	46,795	48,127
退職給付に係る資産	2,615	2,661
繰延税金資産	4,751	4,806
貸倒引当金	△4,593	△5,176
資産の部合計	1,717,818	1,709,894
<b>負債の部</b>		
預金	914,768	956,806
譲渡性預金	650	650
コールマネー	110,000	40,000
借入金	19,052	20,331
社債	65,000	65,000
A T M仮受金	118,566	145,024
クレジットカード事業未払金	42,429	39,286
電子マネー預り金	70,899	68,079
その他負債	97,177	95,480
賞与引当金	1,032	1,602
退職給付に係る負債	25	26
役員退職慰労引当金	29	29
株式給付引当金	812	831
訴訟損失引当金	1,418	1,514
繰延税金負債	99	103
負債の部合計	1,441,962	1,434,768
<b>純資産の部</b>		
資本金	30,724	30,724
資本剰余金	30,850	31,071
利益剰余金	201,836	200,015
自己株式	△2,744	△2,741
株主資本合計	260,666	259,070
その他有価証券評価差額金	607	754
為替換算調整勘定	8,574	9,756
退職給付に係る調整累計額	688	664
その他の包括利益累計額合計	9,870	11,175
新株予約権	12	17
非支配株主持分	5,306	4,862
純資産の部合計	275,856	275,125
負債及び純資産の部合計	1,717,818	1,709,894

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
経常収益	41,246	51,427
資金運用収益	1,475	2,480
(うち貸出金利息)	1,356	2,230
(うち有価証券利息配当金)	37	63
役務取引等収益	39,286	48,794
(うちATM受入手数料)	36,032	38,541
(うちクレジットカード営業収入)	-	3,083
(うち電子マネー営業収入)	-	3,124
その他経常収益	483	152
経常費用	33,494	44,249
資金調達費用	244	381
(うち預金利息)	7	39
役務取引等費用	11,564	13,937
(うちATM設置支払手数料)	7,697	7,977
(うちATM支払手数料)	2,358	2,482
(うちクレジットカード業務経費)	-	1,391
(うち電子マネー業務経費)	-	232
その他業務費用	15	9
営業経費	21,283	28,843
その他経常費用	386	1,077
経常利益	7,751	7,178
特別利益	785	121
持分変動利益	-	121
関係会社株式売却益	785	-
特別損失	427	324
固定資産処分損	82	160
減損損失	45	163
その他の特別損失	299	-
税金等調整前四半期純利益	8,110	6,975
法人税、住民税及び事業税	2,576	2,446
法人税等調整額	192	△88
法人税等合計	2,769	2,358
四半期純利益	5,340	4,617
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	30	△27
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,310	4,644



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）
四半期純利益	5,340	4,617
その他の包括利益	991	1,476
その他有価証券評価差額金	260	146
為替換算調整勘定	741	1,353
退職給付に係る調整額	△10	△23
四半期包括利益	6,332	6,093
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,144	5,949
非支配株主に係る四半期包括利益	187	143

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

該当事項はありません。

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業 (銀行業 その他)	クレジット カード・ 電子マネー 事業	海外事業	計		
経常収益						
ATM受入手数料	27,610	—	8,422	36,032	—	36,032
クレジットカード営業収入	—	—	—	—	—	—
電子マネー営業収入	—	—	—	—	—	—
その他	3,170	—	17	3,187	—	3,187
顧客との契約から生じる 経常収益	30,780	—	8,440	39,220	—	39,220
その他の経常収益	2,075	—	77	2,152	△126	2,025
外部顧客に対する 経常収益	32,855	—	8,517	41,373	△126	41,246
セグメント間の 内部経常収益	—	—	—	—	—	—
計	32,855	—	8,517	41,373	△126	41,246
セグメント利益又は損失 (△)	8,358	—	△606	7,751	△0	7,751

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 調整額は、主にセグメント間の取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る減損損失)

国内事業（銀行業その他）セグメントにおいて、投資額の回収が見込めなくなった事業用資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、前第1四半期連結累計期間においては、45百万円であります。

株式会社セブン銀行（8410） 2025年3月期 第1四半期決算短信（連結）

当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内事業 (銀行業 その他)	クレジット カード・ 電子マネー 事業	海外事業	計		
経常収益						
ATM受入手数料	28,469	—	10,072	38,541	—	38,541
クレジットカード営業収入	—	1,783	—	1,783	—	1,783
電子マネー営業収入	—	3,124	—	3,124	—	3,124
その他	3,280	667	28	3,975	—	3,975
顧客との契約から生じる 経常収益	31,749	5,575	10,100	47,424	—	47,424
その他の経常収益	2,120	1,834	138	4,092	△89	4,002
外部顧客に対する 経常収益	33,869	7,409	10,238	51,517	△89	51,427
セグメント間の 内部経常収益	172	6	—	179	△179	—
計	34,042	7,416	10,238	51,696	△269	51,427
セグメント利益又は損失 (△)	7,234	469	△522	7,180	△2	7,178

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。  
 2. 調整額は、主にセグメント間の取引消去であります。  
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る減損損失)

国内事業（銀行業その他）セグメントにおいて、投資額の回収が見込めなくなった事業用資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては、163百万円であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	5,199百万円	6,662百万円
のれんの償却額	22百万円	22百万円

（重要な後発事象）

（投資有価証券の売却）

当社は、保有する投資有価証券について、2024年7月18日に売買契約を締結し以下のとおり売却いたしました。

（1）投資有価証券の売却理由

出資先企業の上場に伴う売却要請に応じたため

（2）投資有価証券の売却の内容

売却株式銘柄	： 当社保有の上場有価証券 1 銘柄
契約締結日	： 2024年 7 月18日
売却日	： 2024年 7 月26日
売却益	： 1, 545百万円

2025年3月期 第1四半期決算補足資料

目 次

1. 四半期財務諸表（単体） .....	補足2
(1) 四半期貸借対照表（単体） .....	補足2
(2) 四半期損益計算書（単体） .....	補足3
2. 自己資本比率（国内基準）の状況 .....	補足4
(1) 連結自己資本比率（国内基準）の状況 .....	補足4
(2) 単体自己資本比率（国内基準）の状況 .....	補足4

## 1. 四半期財務諸表（単体）

## (1) 四半期貸借対照表（単体）

（単位：百万円）

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
現金預け金	956,804	893,944
コールローン	50,000	40,000
有価証券	172,795	177,826
貸出金	44,468	48,166
外国為替	0	0
A T M仮払金	198,172	245,191
その他資産	33,255	36,105
有形固定資産	29,023	30,942
無形固定資産	38,484	40,162
前払年金費用	921	974
繰延税金資産	1,131	1,056
支払承諾見返	13,300	13,300
貸倒引当金	△1,802	△1,875
資産の部合計	1,536,555	1,525,795
負債の部		
預金	949,751	984,818
譲渡性預金	650	650
コールマネー	110,000	40,000
社債	65,000	65,000
A T M仮受金	118,566	145,024
その他負債	29,588	28,231
賞与引当金	634	990
株式給付引当金	812	831
支払承諾	13,300	13,300
負債の部合計	1,288,303	1,278,847
純資産の部		
資本金	30,724	30,724
資本剰余金	30,724	30,724
利益剰余金	188,926	187,467
自己株式	△2,744	△2,741
株主資本合計	247,631	246,175
その他有価証券評価差額金	607	754
評価・換算差額等合計	607	754
新株予約権	12	17
純資産の部合計	248,252	246,947
負債及び純資産の部合計	1,536,555	1,525,795

## (2) 四半期損益計算書（単体）

## 第1四半期累計期間

（単位：百万円）

	前第1四半期累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）
経常収益	31,880	33,056
資金運用収益	1,421	1,845
（うち貸出金利息）	1,349	1,725
（うち有価証券利息配当金）	37	63
役務取引等収益	30,085	31,053
（うちA T M受入手数料）	27,497	28,406
その他業務収益	12	—
その他経常収益	361	157
経常費用	23,305	25,637
資金調達費用	64	124
（うち預金利息）	7	39
役務取引等費用	6,259	6,674
（うちA T M設置支払手数料）	4,382	4,437
（うちA T M支払手数料）	685	773
その他業務費用	—	9
営業経費	16,646	18,502
その他経常費用	334	327
経常利益	8,575	7,418
特別利益	200	—
関係会社株式売却益	200	—
特別損失	379	141
固定資産処分損	79	141
その他の特別損失	299	—
税引前四半期純利益	8,395	7,277
法人税、住民税及び事業税	2,634	2,261
法人税等調整額	28	10
法人税等合計	2,662	2,271
四半期純利益	5,732	5,006



## 2. 自己資本比率（国内基準）の状況

## (1) 連結自己資本比率（国内基準）の状況

	2024年6月末
連結自己資本比率（国内基準）	30.42%

(参考) 2024年3月末
30.74%

## (2) 単体自己資本比率（国内基準）の状況

	2024年6月末
単体自己資本比率（国内基準）	40.71%

(参考) 2024年3月末
42.37%